

カーエアコン付自動車の廃棄には「自動車フロン券」が必要です

【お問い合わせ先】
自動車フロンコールセンター
☎ 03-5532-1461

オゾン層保護と地球温暖化防止のため、平成14年10月1日より「フロン回収破壊法」が施行され、カーエアコンが搭載された車を廃棄処分する際には、自動車オーナーがフロンの処理費用を負担することとなりました。郵便局、またはコンビニエンスストア（セブンイレブン、ローソン、サンクス）各店舗にて、車種に応じた料金を払い込んでいただき、その払い込んだ証明として「自動車フロン券」を受け取り、廃棄処分時に車と一緒に取引業者にお渡しください。

- バスを除く乗用車 2,580円（自動車フロン券1枚）
- 小型バス（全長7m未満） 5,160円（自動車フロン券2枚）
- 大型バス（全長7m以上） 10,320円（自動車フロン券4枚）



小型充電式電池はリサイクルへ

家庭で充電して繰り返し使える小型充電式電池。充電を繰り返して使えなくなったものについては、本町5区の「くまのでんき」さんに無償回収ボックスを設置していますので、資源保護とごみ減量のためご利用ください。

【回収している電池】

- ①ニッケル・カドミウム電池（通称：ニカド電池）
- ②ニッケル・水素蓄電池（通称：ニッケル水素電池）
- ③リチウム二次電池（通称：リチウムイオン電池）
- ④小型シール鉛蓄電池



※乾電池、ボタン電池、リチウム電池など使い切りの電池は回収できませんので、「燃えないごみ」として出してください。

選挙管理委員会からのお知らせ

4月13日は北海道知事・北海道議会議員選挙の投票日です

瀬棚町の各投票区について、各地区の選挙人数及び投票所の状態などを考慮し、次のとおり投票区と投票所を一部変更しましたのでお間違えのないようよろしくお願いします。

投票区	投票所	地 区
第1投票区	児童会館	三本杉、本町、共和、西大里2区、東大里1区の1部、東大里2区、南川 ※第11投票区（南川）を廃止し第1投票区に編入
第2投票区	共同作業所	元浦1区・2区・3区 ※第3投票区（元浦2・3区）を廃止し第2投票区に編入
第3投票区	元浦漁村センター	元浦4区
第4投票区	白岩漁村センター	島歌1区
第5投票区	吹込青年研修所	島歌2区
第6投票区	島歌生活館	島歌3区
第7投票区	美谷青い海の家	北島歌1区
第8投票区	へき地保健福祉館	北島歌2区
第9投票区	大里生活改善センター	西大里1区・3区、東大里1区・3区

4月13日が投票日の北海道知事・北海道議会議員選挙では左の投票区となります。





洋上風力発電施設の建設について



①洋上の場合、建設の難航、工費の増加、海域のため波浪や塩分などによる損傷が多いことが予想される。②故障が荒海などにより修理できず何日か風車が停止し発電できなくなることが考えられる。したがって、陸上の方がメ리트が多いと思われるが、③洋上であることのメ리트は何か。④立象山あたりでも風車は年中回ると思われるし、エコパワーの風車近くでも良いのではないのか。多くの町民はなぜ洋上なのか疑問を持っています。

ペンネーム…立象山

洋上に風車を建設することについて

①建設の難航・工費の増加・波浪や塩分による損傷について



工費の増加などについては、陸の方が安価で建設できますが、洋上レベルの発電量を陸で得ようとするれば、標高の高い場所を選択しなければならず、この場合、いろいろと法制度の問題や管理道路建設などのコストを総合的に検討すると洋上風力発電の採算性や優位性が良いことが分かります。

また、波浪や塩分などの損傷についてのご心配をいただ

いていますが、風車はヨーロッパでも特に洋上風力発電の先進であるデンマーク製で世界的ベストセラー機種であり信頼性は確かなもので建設いたします。

②故障や荒海での修理の遅れについて



陸・海でも風が強ければ修理やメンテナンスはできませんし、また、時化で修理などのできない場合を想定した年間発電量を予定しています。

③洋上であることのメ리트について



風力発電にとって安定した風が大きなメ리트であります。そして、全国の新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の風況調査の中では、ずば抜けて安定した風の調査結果が出ています。

また、わが国初の洋上風力発電は、シンボルの効果や国土交通省港湾局では、「港湾における風力発電導入促進」として、瀬棚港洋上風力発電をモデルケースとして検討・

研究をする予定となっています。

当初、風車は東外防波堤上に計画しましたが、防波堤基礎がそのような構造になっておらず、防波堤の内側に建設することになり、静穏海域は水産増養殖海面であることから、風車基礎部を魚礁として、さらに基礎部を利用した蓄養施設を設置するなど養殖漁業の二次的効果を求めるよう検討中です。

④設置場所について



立象山周辺は、当初エコ・パワーでも建設を検討しましたが、現時点では道立自然公園内での建設許可が出ず、またNEDO建設補助採択条件として事業の先進性や優位性が求められており、エコ・パワー風車（600kw 2基）近くでの陸上建設では補助採択にならない状況となっています。したがって、洋上に建設するものです。

いずれにしても、洋上風力発電事業については、平成10年瀬棚港マリンタウンプロジェクトの検討委員会の中で、東外防波堤の多目的な活

用や自然エネルギー導入という観点から、洋上風力発電と海洋深層水構想を位置づけ、平成11年度から風況調査や事業内容、環境等の各調査を実施してきた経緯の中で、あらゆる角度から総合的に検討され、建設することとなりました。たことをご理解ください。

企画商工課まちづくり推進係長

神田 昌



【お願い】 お便りには、無記名及びペンネームのみではなく、必ずお名前と連絡先を明記願います。（場合によってはお答えできないことがあります）